

園児と学生が協力して作り上げた舞台「ノアの方舟」



光星学院「星の子シアター」

「ノアの方舟」 かわいらしく

八戸

八戸市の学校法人光星学院（法官新一理事長）は15日、市公会堂で「星の子シアター」を開催し、八戸学院大学短期大学部幼児保育学科2年生と系列の3幼稚園園長児による「ノアの方舟」を上演した。園児と学生が協力して作り上げた舞台に、観客約600人から大きな拍手が送られた。（千葉真由美）

同シアターは、音楽的能力や運動能力などを養うトリック表現の舞台として、昨年からは短大生約85人と、八戸学院八戸学院聖アンナ、八戸学院第二ののめ幼稚園の園長児計約60人が参加。神や自

園児と短大生が熱演

然への畏敬の念などをテーマにした舞台に挑戦した。園児たちは方舟に乗り込む動物になりきり、動きや鳴き声をかわいらしく表現。短大生は主人公ノアやその家族を堂々と演じたほか、園児をサポートするなど裏方として奮闘した。ノアを演じた梅津総太さん（20）は「役になりきって演技するうち、緊張がほぐれた。みんなで一つの作品を作ることができて良かった」と笑顔で語った。カエル役の須藤凜ちゃん（八戸学院幼稚園）、トラ役の磯島奏海ちゃん（八戸学院第二ののめ幼稚園）、ワニとカタツムリを演じた小野寺蓮空ちゃん（八戸学院聖アンナ幼稚園）はそれぞれ「楽しかった」「上手にできた」とうれしそうに話した。